

なかまの

NO.532 全日本建設交運一般労働組合秋田県本部機関紙
2020年11月5日発行 〒010-0976 秋田市八橋南1-2-29
TEL018-823-7748 fax018-823-7751
Email: kenkourouakita@bz03.plala.or.jp



県本部第22回定期大会開催

10月25日、建交労秋田県本部第22回定期大会を秋田市のサンライフ秋田で開催しました。大会には、代議員・役員ら20人が出席しました。コロナ禍のなか、規模と時間を縮めての開催でした。

石塚委員長のあいさつ、メッセージ紹介（中央本部、県労連、日本共産党秋田県委員会）の後、議案提案、討論に入りました。

大会では、4人が発言しました。（左下）執行部の提案した総括と決算報告、運動方針案と予算案は満場一致で採択され、左記の役員を選出しました。大会は、組織建設の前進にむけて奮闘しようという大会宣言を採択して閉会しました。



県本部定期大会での石塚委員長のあいさつ（要旨）

過去にも経験したことのない新型コロナウイルスの感染は、我々国民の生活に大きな影響を及ぼすなど混乱を引き起こしています。一年近くなる現在においても収束の気配すら見えていません。県本部のたたかいは新型コロナウイルスの感染の影響があり、各種の集会や会議、宣伝活動など軒並み中止に追い込まれました。まだまだ続くであろうコロナ禍での活動をどうやって乗り切っていくのが課題であると思っています。職場・支部、分会で抱えている問題点や要求など徹底して追求したり、春闘要求アンケートの集約を徹底して行うなど工夫次第でいろんな構想が浮かんでくると思います。構想で終わらせず実践までつなげればと思います。

7年8ヶ月つづいた安倍政権があっけなく崩壊しました。何でもありの7年8ヶ月でした。「森友、加計疑惑」をはじめ様々な疑惑や隠ぺい、2回にわたる消費税増税など国民いじめの悪政が続いてきました。特に問題なのは、立憲主義を壊し国会をも私物化し労働者・国民の生活を破壊し続けてきたことです。結局のところ、これまで安倍政権の横暴を許し、続けさせてきたのは野党の力量が弱かったことにほかなりません。その後、安倍政権に危機感を持った国民は国会をデモで包囲するなど市民連合を結成する流れをつくって、2019年の参院選では秋田県をふくむ10選挙区で勝利し、改憲勢力の3分の2を打ち破りました。体調不良を理由とした安倍首相の突然の辞任のあと発足した菅政権は、安倍政権路線の継承を表明しています。秋田県出身者で初めて総理大臣が誕生したということで地元では大変盛り上がりつつありますが、この先の政策など動向を注視していく必要があると思います。

最後に、きょうの大会を皆さんの討議で盛り上げていただくことをお願いして簡単ですが、あいさつとします。

10月12日、19日の2日に分けてじん肺根絶キャラバン秋田県行動を行いました。今年のキャラバンは、新型コロナウイルスの感染予防のため、県をまたいでの応援行動は行わず、秋田県単独での行動としました。また、患者組合員の参加は見送り、少人数でのキャラバン行動となりました。

じん肺根絶キャラバン行動実施

12日は5名の参加で、JR秋田駅前での宣伝行動、県知事・県議会要請を行いました。ハンドマイクで、じん肺と全ての労災職業病の根絶を訴え、チラシ配布を行いました。約30分間で5人での宣伝行動でしたが、300部用意したチラシは50枚しか残りませんでした。（左の写真）また、地元新聞が取材に訪れました。県知事要請では、要請書を渡し、趣旨説明を行いました。新型コロナウイルスの感染予防のため、回答は後日書面でもらうことにしました。県議会要請では、議会開会中でしたが事務局が対応しました。これまでの到達点、これからの課題、議員へのご理解とご協力を訴えました。

19日は3名の参加で労働局要請、やりとりを行いました。要請項目のほとんどが規則、制度に係わるものであり「本省へ伝える」の回答でした。懇談の中で、今年度の県内のトンネル工事は2件で、監督指導の結果、恒常的残業は無いそうです。しかし、監督指導の頻度を尋ねると「年1回」の回答。頻度を上げるよう追求しましたが、「人手不足」を理由に挙げました。公務員の定員合理化計画のもとで、現場が疲弊するまで人員が削減されて、限界にきています。定員管理を柔軟に運用し、必要な要員を確保する仕組みに改めなければなりません。

八面六臂（はちめんろくべい）

新型コロナウイルスの影響で、コメの消費が大幅に減少しコメ余りの可能性が出てきました。2020年6月までの一年間の需要量は、前年同期比で22万トン減少しているという。コロナ禍で外食産業での需要量の落ち込みが大きく影響していて、それに加えてパンや麺類などに需要が奪われている傾向が強いとされています。▼2020年産は豊作基調。作付けや適正量を超えたこともあるが、なんと言ってもコロナの影響が大きいようです。備蓄米を除く民間在庫量は、来年6月時点で221万トン、227万トンと予想され、一方で余ったコメの保管倉庫が確保できていないのも大きな問題となっていて、混乱は続きそうです。▼そんな中、渡辺昌・東京農大客員教授と飯沼一元・ライステック社長（工学博士）らがコメをたくさん食べるところでは新型コロナウイルス感染率が低いという論文を出しました。論文は、消費量と新型コロナウイルス感染者数の相関を5大陸19ヶ国に対して統計解析し「米食者は腸内細菌が良く、免疫機能が高くなり感染を抑制している」としています。▼私たちのこれからの感染対策は、玄米食やコメぬかの利用など、とにかくコメをたくさん食べることでそうです。（優）

秋田県本部の2020年度の役員
執行委員長 石塚 優（秋田運送支部）
副執行委員長 高橋正彦（ダンプ支部）
書記長 田中喜三男（ダンプ支部）
書記次長 佐藤博之（農林支部）
執行委員 小松一利（本荘清掃分会）
執行委員 鈴木 諭（秋田運送支部）
執行委員 工藤有己（個人加盟）
会計監査 佐藤一義（ダンプ支部）
会計監査 和田広樹（秋田運送支部）
※会計監査の登藤義広さんが退任し和田広樹さんが就任。それ以外全員が再任。敬称略。

■能代市二ツ井の小繋トンネルの使用促進工事現場で働いてきたが、一日の常用単価税抜き5万円のべ1003台就労してきて10月10日で終了した。このとりくみのまわりに与えた影響は大きい。他の現場でも適正な単価で使用促進措置がとられるようとりくんでいきたい。

秋田ダンプ支部・高橋

■じん肺根絶のための裁判（第6陣）が全国の7地裁で闘われている。和解が延期となった仙台地裁では、9月に和解した。今年のじん肺根絶キャラバンは10月12日に秋田県と県議会に要請した。19日には秋田労働局に要請・交渉を行った。

農林支部・佐藤

■コロナの影響は4～6月は少なく夏の一時金アップをかちとった。しかし、その後中国からの輸入が止まり、物流の動きがにびっている。セメントは民間が減り、公共事業だのみとなっている。冬期一時金への影響が懸念される。

秋田運送支部・鈴木

■委託単価の引き上げは今年度100万円ほどあったが、ほとんどが消費税10%分だった。それでも要求書を出し交渉して、月額1,000円～2,000円の値上げをかちとった。本荘清掃分会・小松





安倍政権より強権的な菅新政権 恐怖政治の様相

安倍政権の政策を引き継ぐという菅義偉政権が9月16日発足した。発足から半月ほどで、首相の日本学術会議への人事介入が大問題になっている。安倍前政権より強権的な恐怖政治を予感させる。

官邸主導、メディア支配を確立

菅首相は安倍政権の7年8ヵ月を官房長官として支え、官邸主導、官邸支配の政治を確立した張本人である。2014年の内閣人事局設置の中心となり、人事権で官僚を支配し、官僚の忖度をばひこらせるようになる。意見を言う官僚は左遷された。そうしたなか、森友・加計問題、桜を見る会など、国政を私物化する安倍首相を守るために疑惑隠しが横行する。菅首相は9月の自民党総裁選でも「私どもは選挙で選ばれている。何をやるという方向を決定したのに、反対するのであれば異動してもらう」と語った。

批判者を排除

菅官房長官時代、政府のメディア支配が深まった。政権を批判するコメンテーターやキャスターが次々とテレビから姿を消していった。NHKテレビの「クローズアップ現代」で2014年7月、集団的自衛権行使容認の閣議決定について、官房長官の菅氏に国谷裕子キャスターが何度も疑問を投げかけると、番組が官邸側からの「抗議」にさらされたと報じられ、国谷氏は降板した。

2017年6月から菅官房長官会見に出席し、果敢に質問した東京新聞の望月衣塑子記者に対し、官邸側は質問を執拗に制限・妨害した。



秋田運送支部が定期大会開催

10月31日、秋田市で秋田運送支部が定期大会を開催しました。提案された議案を満場一致で採択し、役員として次の三役（敬称略）らを選出しました。

委員長・渡部直樹、副委員長・加藤幸泰、川和田章一、書記長・鈴木 諭（いずれも再任）

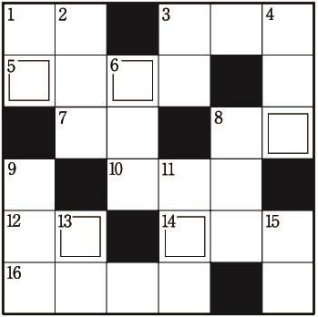


民意無視して戦争する国へ

菅氏は官房長官時代「沖縄基地負担軽減担当相」として、沖縄県の民意を無視し、機動隊も導入しながら、高江や辺野古の米軍新基地建設を強行してきた。2015年4月、当時の翁長雄志沖縄県知事との会談では新基地建設を「粛々と進める」と言い放ち反発を買った。

さらに、米軍とともに戦争する国づくりに向けて、高まる反対世論を無視して安保法制（戦争法）を2015年に成立させた。

クロスワードパズル



カギを解き、二重枠に入る文字を並べてできる言葉は何ですか。
【タテのカギ】①夫の配偶者 ②蹴ること ③——の口、——盤 ④——も山の賑わい ⑥順を追って次々に ⑧信じすぎることに ⑨足摺——、宗谷—— ⑪観光旅行。——バス ⑬カレー——を使えば簡単に作れる ⑮ピンから——まで

【ヨコのカギ】①——は東に日は西に ③人の住む家屋 ⑤筋肉質で男っぽい ⑦掛け算の—— ⑧桃栗三年——八年 ⑩——に余るほど多い ⑫一般的にヒト以外の霊長類の総称 ⑭数学の公式を丸—— ⑯ゴールキーパーの略

【前回の答え】 渡り鳥（ワタリドリ）

応募者3名、正解者3名でした。
福岡県本部の原田節生さん（86歳）に1,000円の図書カードを送ります。答えをハガキかファックス、メールで送ってください。正解者の中から1名の方に1,000円の図書カードを贈ります。その際、住所・氏名・年齢（さしつかえなければ）・支部・分会名を忘れずに書いてください。初めての方の投稿大歓迎です！

応募のしめ切り⇒11月25日の消印まで有効。発表は次号で。
ヒント⇒〇〇ア〇〇…ちょっとブラリ
余白に意見や組合への要望などを必ず書き添えてください。とく名、ペンネーム可。

仲間の皆さん、ふるって応募を！
《あて先》〒010-0976 秋田市八橋南1丁目2番29号
Fax. 018-823-7751
建交労秋田県本部「なかま」クイズ係

仲間の声

ウイズコロナだけは慣れたくないものと思っていますが、未だに収束の兆しはなく、遂には選挙をまじかに控えた米国のトランプ大統領が感染し、これまでに最大のオクトーバー・サプライズとなりました。そもそも1980年の大統領選挙の折に使われ始めたオクトーバー・サプライズ。残り3週間余りにトランプ大統領の健康問題以外に、別のオクトーバー・サプライズが発生するかもしれません。注目です。（10月8日記）

ダンブ支部千秋分會
佐藤正樹 58歳

今年の夏も暑かった。避暑を兼ねて何度も鳥海山に登ったけれど、尾根筋に降り注ぐ真夏の太陽を全身にあびて汗だくになった。標高1500メートル越えたあたりからやっと涼しくなり一息つける。しかし頂上を目指す気力はない。（体力もたぶんない）景色を楽しみ、花を愛で、のんびり食事をこつて至福の

時を過ごす。今年の夏はコロナの影響で団体のツアー客がおらず、ひととき静かな鳥海山だった。さみしくもあった。10月、紅葉の秋、錦秋色に染まった鳥海山に多くの登山者が訪れていた。
由利本荘市・個人加盟
笹 耕市 73歳

沼倉元県本部委員長、お懐かしいです。私も現役の時に中央本部の諸会議などで沼倉さんをお見かけいたしておりました。その誠実なお姿が今でも目に焼き付いています。軽い脳卒中とのことで心配です。これからだんだん寒くなりますが、お体には十分御留意下さい。
私も高齢には勝てず十分な活動は出来ませんが、生涯組合活動には参加してゆく覚悟です。なるべく仲間のみなさんの足手まといにならないよう、注意しながら頑張ります。「生かされている」今をより有意義に生き抜きたいです。
福岡県本部・原田節生 86歳

個人加盟の笹さんの投書を読んでも、私も一言書かなければと思いペンをとりました。湯沢市秋ノ宮出身の菅総理大臣が誕生しましたが、生家が私の家から3キロほどの近さです。両親も、その兄弟もよく知っていますが、息子である総理大臣とその兄弟は知りませんでした。
総理大臣の生家を見ようと1週間ほど車の渋滞がつづき、近くの駐在所が交通整理にあたるほどでした。私のところにも車2台が生家をたずねて訪れています。遠い知人からも電話があり、なかには「あまり総理大臣の悪口は言わない方がいい」との進言もありましたが、安倍政権をそのまま引き継ぐという、菅政権をこのまま見過ごしてはならないとしゃべりまくっています。
野党共闘で一日も早く菅政権を終わらせるために、私もできる限りの力を尽くしたいと思っています。
農林支部・沼倉昭一 86歳